

特別展

## 特別公開 平成の玉虫厨子

併催 漆工の名品  
中国の堆朱と日本の人間国宝

平成の玉虫厨子(飛騨高山茶の湯の森)



玉虫桐箱(飛騨高山茶の湯の森)



玉虫漆水文書匣(飛騨高山茶の湯の森)



玉虫八角食籠(飛騨高山茶の湯の森)



玉虫雄雀(仁清写)(飛騨高山茶の湯の森)

平成22年2月7日(日) — 3月28日(日)

●開館時間 9時～17時(入館受付は16時30分まで) 2月7日回は一般公開13時から 月曜日休館(月曜祝日の場合は翌日休館)

●入館料 一般800円 高校生600円 友の会会員500円 小中学生、障害者手帳提示の方、付添いの方、引率者 無料  
団体(20名様以上)、シルバーカード提示の方 2割引

●主催 財団法人林原美術館 ●協力 平成プロジェクト、飛騨高山茶の湯の森 ●後援 岡山県郷土文化財団、山陽新聞社、読売新聞社大阪本社、朝日新聞社岡山総局、毎日新聞社岡山支局、中国新聞社備後本社、日本経済新聞社岡山支局、産経新聞社岡山支局、NHK岡山放送局、RSK山陽放送、RNC西日本放送、TSCテレビせとうち、OHK岡山放送、KSB瀬戸内海放送、Oniビジョン、エフエム岡山

●ギャラリートーク 毎週土曜日14時から

林原美術館

〒700-0823 岡山市北区丸の内2-7-15 TEL(086)223-1733  
<http://www.hayashibara-museumofart.jp>



存星花鳥図食籠（中国清代）（林原美術館）



堆朱波瀾龍図食籠（中国清代）（林原美術館）

本展では平成の時代の技法を駆使した玉虫厨子と、不思議な光を放つ玉虫の工芸品をご鑑賞いただきたく存じます。また林原美術館館蔵の中国清朝の堆朱の数々および日本の人間国宝による備中漆を使った漆芸品を併せて展示し、御覧いただきたく存じます。

玉虫を使った工芸品をご紹介します。飛騨高山は古くから木匠の里として知られ、日本の木工の歴史に大きな足跡を残し、その技術を現在に伝えます。平成16年に法隆寺の玉虫厨子を現在に再現すべく、飛騨高山の匠たちが中心となって「玉虫厨子復元プロジェクト」を立ち上げました。玉虫厨子は飛鳥時代の7世紀に制作された仏像などを安置する厨子で、伝世品としては最古の漆工芸品です。復元制作にあたっては、厨子の設計にまつわる古文書などは残されておらず、困難を極め、試行錯誤を繰り返しました。貴重な玉虫を集め、ようやく現代に甦らせることができ、見事な姿となって私たちの前に現れました。さらに玉虫を用いてさまざまな工芸品も制作しました。玉虫の工芸品は他にない大変珍しいものと言えます。

# 特別展 併催 漆工の名品 中国の堆朱と日本の人間国宝



堆朱楼閣人物図卓（中国清代）（林原美術館）



堆朱山水図菱蟹食籠（中国清代）（林原美術館）



堆朱楼閣人物図器局（中国清代）（林原美術館）

## 林原美術館

HAYASHIBARA MUSEUM OF ART

〒700-0823 岡山市北区丸の内2-7-15 TEL(086)223-1733 FAX(086)226-3089

<http://www.hayashibara-museumofart.jp>

\*車椅子対応の設備あります。

交通 / JR岡山駅から徒歩25分 / 路面電車[東山行]県庁下車徒歩7分

同電バス[岡電高層行]県庁前下車徒歩3分

宇野バス[瀬戸駅前行・四御神行]県庁前下車徒歩3分



### 次回予告

もんよう・文様・紋様  
—design of Japanese art— (仮称)  
平成22年4月9日(金)~5月23日(日)

身にまとう装束や日常使用する調度品などには、自家の家紋や日本古来の文様など、さまざまな意匠が施されており、見る者の目を飽きさせることはありません。本展では、当館所蔵の工芸品を中心に展示し、それらをいろいろとさまざまな意匠を楽しんでいただきます。